

6.5集会での発言

三里塚闘争の勝利に未来がある

日刊 動労千葉

82.6.15

No. 1070

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五（六）（発）五三三二七二〇七

「六・五集会」における連帯のあいさつの最後に、三里塚を闘うがゆえに国家権力からのデッチ上げ、逮捕・起訴という集中弾圧をうけ、これをはね返して闘い抜いている部落解放同盟荒本支部の村上教宣部長と、意岐部東小学校の辻岡先生の決意表明を紹介します。

三里塚を闘うがゆえの弾圧を許さない

村上 周成氏

（部落解放同盟荒本支部 教宣部長）

三里塚を闘うが故の不当弾圧をうけつつ、闘い抜く皆さんの前であいさつ出来てうれしい。荒本支部への弾圧は、三里塚を闘う故のデッチ上げ弾圧だ。

私たちが、狭山・三里塚・反天皇を闘うが故に権力は、弾圧してきている。

しかし、私たち一四〇〇名は、支部員一丸となって闘っている。

反天皇・三里塚闘争の中に人民の未来がある

辻岡 豊氏

（東大阪市意岐部東小学校 前教頭）

今、私は、動労千葉が八一年三月決戦ストに決起する集会のことを思い出している。

私たちは、皆さんの仲間入り出来る状況をつくり出した。荒本支部・意岐部東小は、空前の大弾圧の中で熱烈な団結をもって闘っていることを報告します。

国鉄労働者への弾圧、臨調・「ヤミ・カラ」攻撃粉碎のこの集会が大成していることをうれしく思います。

私は、三六年間の教師生活の中で、今、権力と直接闘える立場にいることをうれしく思っています。教育の反動化の中で、反天皇・三里塚闘争を闘う中しか人民の未来を切り拓くこと

三里塚闘争勝利の中にこそ、われわれの未来がある。三〇〇〇万円カンパ、十万人署名で三里塚闘争勝利・部落完全解放へむかって闘おう。全国の皆さんと共に闘います。

は出来ない。

私は、学校で子供たちにデモをおしえ、皆んなでゼッケンを作り、石川さんの苦闘を思い、話し合い、「労働者の子供としての教育はこうあらねば」と六年間あゆみつつけてきました。これが差別と闘う子供たちの教育だと思ふ。

「国鉄赤字」は、労働者の責任ではない。

生産手段を労働者の手にとりもどそう。生産手段を人民のために活用できる子供を育てよう。これがすべての子供たちへの教育だ。

今日の意岐部・動労千葉への弾圧も三里塚二期着工攻撃そのものだ。

六・六全関西大決起集会、六・一二荒本支部大抗議集会をちとり七・四三里塚現地へ大決起しよう。

をかけてきたのである。

わが動労千葉を支援し連帯し三里塚を闘うがゆえに未曾有の弾圧に抗し、反撃するため、われわれは、なにがなんでも守り抜かなければならない。

全組合員の皆さん、わが動労千葉は、荒本支部と意岐部東小の闘う仲間が全国に発している支援カンパと署名要請に全力をあげてこたえようではないか。

全ての組合員のみなさんに訴えます！

部落解放同盟荒本支部・意岐部東小分会を守れ

全力をあげて、支援カンパと署名をとりくもう！

部落解放同盟荒本支部と東大阪教組意岐部東小分会は、部落差別からの解放と解放教育を

狭山・三里塚・反天皇として闘い抜いている。

三里塚反対同盟と動労千葉と固く連帯して闘うがゆえに、国

家権力からの憎悪にみちた刑事弾圧を加えられている。

三月中旬以来、実にのべ四十一箇所の不当捜索、十八名に及ぶ不当逮捕、四名の起訴という

断じて許すことのできない攻撃